

新年のご

あいさつ



越前町長

関 敬 信

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、ご家族おそろいで輝かしい新春をお健やかに迎えになったことと、心からお慶び申し上げます。また、旧年中にたまりました心温まる励ましとご叱正に感謝申し上げますとともに、町政の推進に格別のご理解、ご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、平成二十年を振りかえってみますと、中国・四川省の大地震や岩手・宮城内陸地震などの自然災害、また、汚染米の流通や年金記録の改ざん問題、後期高齢者医療制度をめぐる混乱など、社会を取りまく状況は混乱の度を深めました。とりわけ、アメリカの金融不安に端を発した世界同時不況は我が国の経済に深刻な影響を及ぼし、雇用や個人消費など、実態経済は大きく低迷しました。

そうした状況のなか、町政一期目の仕上げの年を迎え、学校教育や少子

化対策、安全・安心の確保、さらには住環境の整備や農林水産業の新たな展開、情報通信基盤や上下水道、道路の整備など重要課題に積極的に取り組んでまいりました。とくに、八月に行なわれた全国スポ少と全中ホッケー大会の決勝戦では初の県勢対決となり、スポ少では糸生男子が、中学校では朝日男子がそれぞれ日本一の荣誉に輝き、ホッケーの町・越前町を全国に力強くアピールすることが出来ました。また、統合朝日中学校の移転改築工事は、四月一日の開校にむけて順調に進展し、下河原地区に建設中の消防組合・丹生分署も夏には完成予定でございます。一方、本町の財政状況は、平成十九年度の普通会計決算では、経常収支比率は89.4%、実質公債費比率は22.5%、財政力指数は0.355と、十七年度決算に比べて著しく改善したものの依然として高い水準にあり、来年度においても財政健全化への更なる取り組み



みが求められています。

さて、新しい年明け、皆さんはどんな気持ちでお迎えでしょうか。一月二十日には、初の黒人大統領で米国は歴史的にも新たな一歩を踏み出します。変革を訴えたオバマ氏に、米国民は閉塞感を打ち破るリーダーシップを託しました。一方、我が国の政治状況は、二代にわたる総理大臣が、いずれも就任一年にして政権を投げ出し、政治はいつたいていどうなっているのかと誰しも思わざるをえない状況に立たされています。今年は、本町も選挙の年を迎えます。今こそ、決断と実行力を備えた強いリーダーシップが求められているように思います。今年の干支は十二支の二番手、丑年。牛という動物はモタツとしていても、一旦こうと決めたことは断固としてやりぬく性分。押しと粘りを発揮し、自分たちの力、越前町の底力を信じて力強く前進したいものです。

年頭にあたり、町民の皆さまのますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。



越前町議会議長

井 上 信 雄

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、お健やかに輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、町議会の活動に温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

ところで、平成二十年は、皆様方にとって、どのような年でありましたでしょうか。国内外では、色々な出来事がありました。

また、アフガニスタンやイラク、パキスタン、インドなどでは、テロが頻発し、中国・チベット自治区での大規模暴動やグルジアでのロシアとの紛争、アフリカ諸国での内戦が今も大きな影を落としています。

第三十四回主要国首脳会議が、七月七日から三日間にわたり北海道洞爺湖で開催され、日本主導により、地球温暖化対策など環境問題を主要議題に掲げ、世界経済、政治の分野で活発な議論が展開されました。

また、スポーツの祭典であるオリンピックが中国の北京で開催され、世界からアジアが注目されましたが、一方で、日本の近隣諸国では、ロシア、韓国、台湾などの指導者が変わり、アメリカ大統領選挙では、民主党のオバマ氏が次期大統領に選出されて話題を集めました。しかし、その反面、国内外では、地震などの自然災害で多くの被害を被りました。

また、世界経済に目を転じれば、原油の高騰が年初から続き、世界的に景気後退が進む中、米国のサブプライムローン問題を発端に、米国発の金融危機が世界で同時進行し、現在も各国ではその対応に苦慮しています。

さて、国政では、九月に福田総理が突然辞任し、麻生太郎氏が第九十二代首相に就任したのは記憶に新しいところです。衆議院の解散・選挙が行われるとの憶測が飛び交いながらも、世界金融資本市場の未曾有の危機に直面する事態に、衆議院の解散・選挙は影を潜めることになりました。百年に一度と言われる金融危機の中で、日本の経済も確実に後退局面に入り、輸出・生産・収益が減少し、企業の倒産が増加しています。加えて、雇用情勢が急激に悪化し、非正規社員やフリーター問題が深刻な社会問題として浮上してきています。

政府は、国民生活と日本経済を守るため、金融資本市場の安定確保を最優先課題として捉え、平成二十一年度予算編成の基本的な考え方として、「生活者の暮らしの安心」「金融・経済の安定強化」及び「地方の底力の発揮」に施策を集中させることとしています。

こうした、国の動きは、当然、本町の施策にも大きな影響を与えています。

幸いにも、本町では大きな災害等もなく、合併時からの懸案事業であった朝日中学校や消防分署の建設も順調に進められています。

一方で、原油高による農林漁業に与えた影響もようやく落ち着きを見せつつありますが、町としては、依然として国内外の動向を注視し、適切な対応を取る必要があります。

これまで議会は、町民の皆様への負託に応えるため、厳しい町財政を背景にしながらも、議会の役割と使命を果たしてまいりました。今後とも越前町の将来像を思い描き、町に希望と夢が溢れる、活力ある地域づくりに邁進したいと思っております。

本年は、私も議員の改選の年でもあり、来る三月一日には二十人の新しい議員が誕生いたします。町民の皆様には、引き続き町議会への積極的な参画をお願い申し上げます。

年頭にあたり、町民の皆様への益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。